

沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施 ～ ボランティア活動 ～

令和6年12月12日（木）、王城寺原演習場での実弾射撃訓練を終えた米海兵隊の隊員約50名は、大衡村にある「おおひら万葉こども園」を訪問し、園児との交流会などを行いました。

気温10℃を下回る寒い中でしたが、幸いにも降雪はなく、屋外（園庭）ではスポーツ交流会を開催し、準備運動では米海兵隊が訓練さながらの掛け声から始める腕立て伏せを披露し、その迫力により園児は驚きつつも歓声をあげていました。綱引き対決では、見事、園児が米海兵隊に3連勝し、大いに盛り上がりました。また、引き続き行われた園児と米海兵隊の3チームによる混合リレーでは、それぞれのチームが一着を目指してバトンを繋ぎ、白熱した勝負となりました。各競技の後には、お互いに握手をし、健闘を称え合うなど楽しい交流の時間となりました。

その後、場所を屋内に移動し、園児ひとりひとりと英語で会話する時間や米海兵隊と園児それぞれからの演目を鑑賞し合うなど、日米の文化を互いに理解するとともに充実した交流会となりました。

また、交流会終了後には、米海兵隊から園への感謝の意を込めて、ウッドデッキの防腐剤塗装が実施され、米海兵隊は配布を受けた作業用のハケと防腐剤を手に入れた後、丁寧かつスピーディーに作業を終えました。

米海兵隊の代表として訪れたアレキサンダー・J・ヴィタンザ大尉からは「今日の交流を通じてお互いの距離が縮まり、共通の理解やお互いの敬意が育まれることで生まれる絆や思い出が、将来における成功へとつながると考えており、訓練を受入れてくださっている地域の方々に対し、感謝いたします。」との感謝の言葉がありました。

